

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 18 日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山字尾
樽部76-1

氏 名 株式会社 日本ピージーエム
代表取締役常務 工藤 理人

電話番号 0186-29-2744

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 日本ピージーエム 小坂工場
事業場の所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山字尾樽部76-1
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	2319 その他の非鉄金属第一次製錬・精製業
② 事業の規模	売上高14,187百万円(2023年度実績)
③ 従業員数	82人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	鉾さい→運搬→埋立（最終処分） 廃アルカリ→貯液→運搬→焼却（中間処理）→埋立（最終処分） 廃酸→貯液→運搬→焼却（中間処理）→埋立（最終処分） 廃プラスチック→運搬→破碎（中間処理）→埋立（最終処分） 紙くず→運搬→埋立（最終処分）→運搬→再生利用 木くず→運搬→破碎（中間処理）→再生利用 金属くず→運搬→切断（中間処理）→再生利用 ガラス・コンクリート・陶磁器くず→運搬→破碎（中間処理）または焼却（中間処理）→埋立（最終処分） がれき類→運搬→破碎（中間処理）→埋立（最終処分） ばい塵→運搬→洗浄→脱水→乾燥→運搬→再溶解

（日本工業規格 4001番）



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産廃廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2023年度）実績】										
産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばい塵
排出量	1273t	0t	1129t	70t	0t	159t	2t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組）										
①現状										
・廃酸については結晶化防止のため液循環の加温を実施し、発生量を抑制した ・木くず、金属くずは回収して再生利用 ・ばい塵は炉での繰り返し処理										
【目標（2024年度） 予算】										
産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばい塵
排出量	1473t	0t	1250t	71t	0t	160t	3t	0t	0t	0
（今後実施する予定の取組）										
②計画										
・上記取組みの継続										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
【前年度（2023年度）実績】										
産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばい塵
全処理委託量	12737t	0t	1129t	70t	0t	159t	2t	0t	0t	0t
優良認定処理業者への 処理委託量										
再生利用業者への 処理委託量						159t	2t			
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量										
（これまでに実施した取組） ・ 廃酸については結晶化防止のため液循環の加温を実施し、発生量を抑制した ・ 木くず、金属くずを再生利用 ・ ばい塵は自社内での繰り返し処理										
【目標（2024年度）予算】										
産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばい塵
全処理委託量	14731t	0t	1250t	71t	0t	160t	3t	0t	0t	0t
優良認定処理業者への 処理委託量										
再生利用業者への 処理委託量						160t	3t			
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量										
（今後実施する予定の取組）										
※事務処理欄										

(第6面)

備考

請
じ
ま
と。

中
間

量
行
収
あ
へ

と
の
入

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。